

第11回条件反射制御法研修会へのご案内

条件反射に関する初めての報告は1903年にマドリッドで開催された国際生理学会においてパヴロフによりなされました。それから一世紀以上を経た2006年6月1日に、パヴロフ学説に従った方法を用いて、下総精神医療センターで覚醒剤に対する欲求を抑制する試みが始まりました。強力な効果が得られ、現在ではその技法を条件反射制御法と呼び、物質使用障害だけでなく、種々の疾病や逸脱行動として表れる神経活動の無意識的な再現に対して用いています。

多くの方が「依存には回復はあっても治癒はない」と長く言い続けていますが、その言葉に終止符がうたれます。当初からこの技法の標的にした物質使用障害は欲求が生じなくなり、完治に至るものになりました。また、心的外傷後ストレス障害や反応性抑うつ、病的窃盗、病的賭博、痴漢、ストーカー行為にも高い効果を得ています。一方、摂食障害には困難性を感じておりますが、さらに研究を重ね、この技法を高めて参ります。

パヴロフ学説は動物の行動と進化について正確なメカニズムを示していることから、その理論を逸脱した行動の調整に用いて広範な効果を得られるようになったのは、現時点から振り返ると自然な展開だと感じられます。

この研修会ではまずは、ヒトの行動原理と条件反射制御法の基本を正しく理解していただきます。また、この技法を用いる際に対象者にどのように治療作業を指導し、観察するかをロールプレイやテストを交えて、体験的に修得していただき、当院での働きかけ方を詳細にお伝え致します。

この技法が普及すれば、これまで治らないとされたさまざまな疾病状態に苦しむ多くの人達が救われます。また、ヒトの行動原理が見直されるでしょうから、反復する違法行為に対する司法制度改革も期待できます。

募集要項を同封いたしますので、ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

2019年 4月19日

各 位

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター
院 長 女 屋 光 基
薬物依存治療部長 平 井 慎 二

第11回条件反射制御法研修会 募集要項

1. 概要

条件反射制御法は薬物乱用や飲酒、ギャンブル、万引き、痴漢行為、盗撮、ストーカー行為、放火などの反復する行動、並びにパニック障害、反応性抑うつなどの望まない自律神経や気分の状態、パターン化された業務動作の不適切な状況での再現を強力に抑制する技法です。

やめられない行動を「依存」と呼び、治らない病気であると考えerことは誤りです。やめられない行動を生じさせる欲求を条件反射制御法は消去できます。

反復する行動を促進する神経活動を抑制し、制御しつづける技法を習得した方の一部は、他の問題をもちます。それらに対応する施設との連携により、多くの方が完治に至っています。

今回の研修会では、まずは、条件反射制御法の技法を向上させながら把握したヒトの正しい行動原理をお伝えします。

その後に条件反射制御法の各治療ステージで行う作業の詳細と根拠を講義で伝え、各講義の後に、臨床の場で実際に用いるテストを皆様を受け、また、一部の方が治療作業をロールプレイで行って、体験的に条件反射制御法の進め方を修得していただきます。

臨床経験のある方は、この研修で得た知識を用いて現在の知識を整理し、条件反射制御法を実務に利用できるはずで

より確実に条件反射制御法を修得されたい方は、この研修会に参加することで、当院で行う実地研修への参加資格が得られます。

2. 実施主体

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター

3. 研修予定

- 1) 研修日 2019年7月4日(木) 12時50分～17時20分
2019年7月5日(金) 9時00分～13時00分

- 2) 研修会場

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町578番地 下総精神医療センター2階会議室

- 3) 研修内容：別紙「日程表」を参照

- 4) 定員：50名

4. 受講申し込みについて

- 1) 受講資格：下記の立場や職にあり、全プログラムを聴講できる方

- ①無意識的に生じる行動や神経活動に悩む本人の家族の方々
- ②取締、検察、弁護、裁判、更生保護、矯正等の刑事司法体系の職員
- ③教育、保健、医療(医師・看護師等)、福祉、社会復帰施設、作業所等の職員
- ④その他の機関において薬物やアルコール乱用問題、或いは病的賭博、その他の反復される問題行動の解決にかかわるの方々、および実施主体が認めた方

- 2) 申し込み方法

- ①WEBから申し込む場合

ホームページ上の専用申込フォームへ必要事項をご入力の上、送信してください。

※メールアドレスの入力が必要です。添付文書を含むE-mailのやりとりが可能なアドレスでお願いします。

※申し込まれた方には事務局より受付完了メールをお送りしております。申込から3日程度以内にメールが届かない場合、お手数ですが事務局までご連絡ください。

②郵送、FAX、E-mailで申し込む場合

同封の申込フォームもしくはホームページからダウンロード（Word、PDF）して郵送、またはFAX、E-mailで送信してください。

FAX：043-291-2602 E-mail：213-crct@mail.hosp.go.jp

3) 募集期間 2019年4月20日～5月20日まで

5. 受講者決定について

受講希望者が定員を超えた場合には、職種別人数の割合等を考慮して決定します。受講の選考結果については、2019年5月31日までに各応募者に通知します。ご都合によるキャンセルをされる場合は、必ず事務局までご連絡ください。一人でも多くの方にご参加いただけるよう、ご協力をお願い致します。

6. 修了証書の授与について

所定の研修課程を履修した方には修了証書を授与します。

7. 研修受講料等について

①受講料 10,000円（資料代込み）事前振り込み

受講の決定通知と同時に振り込み先をご案内申し上げます。受講料振込後の受講者のご都合によるキャンセルの場合、受講料は返金いたしかねます。

（事前にキャンセルの連絡をいただいた方には、後日研修資料を送付いたします。）

②懇親会について

7月4日（木）18時45分より懇親会を行います。研修申込時に参加可否をご記入ください。代金は、研修当日受付にてお支払い願います。（参加費5,000円を予定）

なお、当日キャンセル時の払い戻しはできませんので、予めご了承ください。

※お支払いはお釣りのないようにご準備願います。

③宿泊の必要な方は各自で手配をお願いいたします。

8. 研修に関するお知らせ

①研修中のPC使用、録音、写真及び動画撮影は担当者以外ご遠慮いただいております。

②参加者同士の交流を目的とし、名札および座席表に所属先名・氏名を記載させていただきます。

9. 研修会についての問い合わせ先

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町578番地

独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター

研修会事務局：寺内真弓

電話：043-291-1221（内線：3007） FAX：043-291-2602

E-mail：213-crct@mail.hosp.go.jp

第11回条件反射制御法研修会 日程表

日時: 2019年 7月4日(木)～5日(金)

場所: 国立病院機構下総精神医療センター会議室

日程	講義題	講師名
7月4日 12:30～	受付	
12:50～	オリエンテーション 開講式: 開講挨拶	事務局 女屋光基 (下総精神医療センター院長)
13:00～14:00	1. 行動原理と条件反射制御法 (CRCT) の焦点 (第一信号系と第二信号系)	1～8の講義担当 平井慎二 (薬物依存治療部長)
14:00～14:20	2. 条件反射制御法の基本とステージ進行	
14:20～14:30	— 休憩 —	ロールプレイ 稲生陽充 (専門病棟看護職)
14:30～15:40	3. 制御刺激設定ステージ (第1ステージ) (標的反射連鎖の作動を止める)	鈴木菜央 (専門病棟看護職) 篠崎良佑 (専門病棟看護職)
15:40～15:50	— 休憩 —	中村徹也 (専門病棟看護職)
15:50～17:00	4. 疑似ステージ (第2ステージ) (標的反射連鎖を弱める)	
17:00～17:20	質問と応答	
17:20～18:00	病棟見学 (希望者のみ)	専門病棟看護職
18:45～	懇親会 (希望者のみ)	
7月5日 9:00～ 9:40	5. 体験書き出しと後の読み返しと20単語羅列 (ストレスへの反応と制御)	
9:40～10:00	6. 標的行動の作文 (標的反射連鎖を作動させる刺激の保存)	
10:00～10:40	7. 頓用疑似薬	
10:40～10:50	— 休憩 —	
10:50～12:00	8. 想像ステージ (第3ステージ) (多様な経過全体の反射の抑制)	
12:00～12:30	9. 維持ステージ (第4ステージ) (回復する性質と対応)	
12:30～12:40	— 休憩 アンケート記入 —	
12:40～12:55	質問と応答	
12:55～13:00	閉講式	事務局

当日の進行あるいは研究の進行等に従い、プログラム内容が変更されることがございます。

申込みフォーム（第11回条件反射制御法研修会）

FAX : 043-291-2602

E-mail : 213-crct@mail.hosp.go.jp

2019年7月4日（木）～5日（金）の研修会に下記のとおり参加を希望します。

フリガナ

氏 名 (..... 歳)

所属機関

所在地 〒

電話番号 FAX 番号

E-mail アドレス @

※携帯アドレス不可。Word 等添付文書の受信が可能なアドレスをお願いします。

※上記 E-mail アドレスに、今後の研修会等のご案内もお送りいたします。

案内が今後ご不要の場合は、下記の□にチェック（✓）をご記入ください。

案内を希望しない

職 種 (資格.....)

役 職

懇親会に参加される方は、下線部に○印を付してください。

7月4日（木）懇親会への参加を希望

※懇親会参加の当日キャンセルは出来ませんので、予めご了承ください。

